

## 用語の解説及び利用上の注意

### 生活時間

#### 1 行動の種類

1日の行動を20種類に分類し、時間帯別の行動状況（同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの一つ）を調査した。

この20種類の行動は、大きく3区分にまとめられ、睡眠、食事など生理的に必要な活動を「1次活動」、仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を「2次活動」、これら以外の活動で各人の自由に使える時間における活動を「3次活動」と呼んでいる。

20種類の行動とその3区分は、次のとおりである。

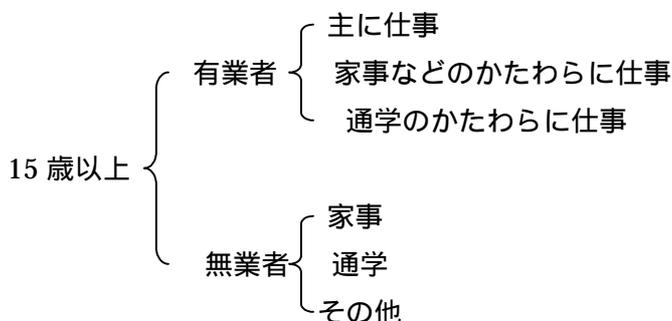
1次活動	{	睡眠 身の回りの用事 食事
2次活動	{	通勤・通学 仕事（収入を伴う仕事） 学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動） 家事 介護・看護（入浴・屋内の移動・食事等の手助け） 育児 買い物
3次活動	{	移動（通勤・通学を除く） テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 休養・くつろぎ 学習・研究（学業以外） 趣味・娯楽 スポーツ ボランティア活動・社会参加活動 交際・付き合い 受診・療養 その他

また、必要に応じて、次の区分も用いている。

家事関連時間.....「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の項同時間の計  
休養等自由時間活動時間...「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」及び「休養・くつろぎ」  
の行動時間の計

積極的自由時間活動時間...「学習・研究」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の行動時間の計

15歳以上の人について、ふだん仕事をしているか否かによって、次のように区分した。



・有業者 　ふだんの状態として、収入を目的とした仕事を続けている人。

・無業者 　有業者以外の人。

## 2 平均時間

行動の種類別平均時間は、1人1日当たりの平均時間で、総平均と行動者平均、曜日別平均と週全体平均とがある。

- ・総平均.....該当する種類の行動をしなかった者を含む全員についての平均
- ・行動者平均...該当する種類の行動をした者（以下「行動者」という。）のみについての平均
- ・曜日別平均...調査の曜日ごとに平均値を算出したもので、「平日」、「土曜日」（学校のあ  
る日・ない日）、「日曜日」がある。
- ・週全体平均...次の式により、曜日別結果を加重平均したものである。  
$$\text{週全体平均} = (\text{平日平均} \times 5 + \text{土曜日平均} + \text{日曜日平均}) \div 7$$

なお、この「報告書」では、特に断りのない限り、「総平均・週全体平均」の数値を記載している。

## 生活行動

### 1 過去1年間に行った活動

この調査では、自由時間等における主なもの（「インターネット」、「ボランティア活動」、「旅行・行楽」、「学習・研究」、「スポーツ」及び「趣味・娯楽」）について、過去1年間の活動状況を、それぞれの種類別に行ったか否か、行った場合には、1年間の活動頻度や目的などを調査した。

#### (1) インターネット

インターネットの利用は、仕事や授業などで利用した場合も含む。また、パソコンの

みでなく、携帯電話や PHS などを使って利用した場合も含む。

インターネットの利用については、情報交換、情報収集などの利用形態等を基に 4 種類に分類している。

## (2) ボランティア活動

報酬を目的としないで、自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動をいう。

ボランティア活動については、対象や目的を基に 9 種類に分類している。

## (3) 旅行・行楽

旅行は、1泊2日以上にわたって行うすべての旅行をいい、日帰りの旅行は含まない。行楽とは、日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りも含む。

旅行については、国内・海外及び旅行目的を基に 5 種類に分類している。

## (4) 学習・研究

個人の自由時間の中で行う学習や研究をいい、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは含まれないが、クラブ活動や部活動は含む。

学習・研究については、その内容を基に 8 種類に分類している。

## (5) スポーツ

余暇活動として行うスポーツをいい、学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものは含まない。

スポーツは、15 種類について調査している。

## (6) 趣味・娯楽

仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいう。

趣味・娯楽は、20 種類について調査している。

## 2 行動者数、行動者率、平均行動日数

行動者数.....過去 1 年間に該当する種類の活動を行った者の数（母集団における行動者数の推定値）

行動者率... 行動者数 ÷ 10 歳以上人口 × 100

平均行動日数...行動者についての平均した過去 1 年間の行動日数

各行動の種類・頻度別の行動者数に基づき、過去 1 年間の平均行動日数を次の式により算出した。

( 頻度階級の中央値 × 頻度階級の行動者数 )

平均行動日数 = 
$$\frac{\text{頻度階級の中央値} \times \text{頻度階級の行動者数}}{\text{頻度階級の行動者数}}$$

なお、「年に200日以上(週に4日以上)」については、中央値を282.5日として計算している。

### 3 その他利用に当たっての注意事項

- (1) 統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入してあること、総数に分類不能・不詳の数を含むことから、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- (2) 増減及び増減率、構成比等の比率は、表章単位の数字から算出している。
- (3) 統計表中「0」、「0.0」、「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
- (4) 統計表中「 」は、該当数字のない箇所である。
- (5) 本文中についても同様である。